

ともえ 2040

発行：みよし学園コミュニティ・スクール
(事務局：市立三次中学校)

令和5年3月1日

No. 36

「第7回 みよし教育フェスタ」が開催されました。

1月29日(日)に、みよしまちづくりセンターにおいて、コロナ禍で2年間中止となっていた「第7回 みよし教育フェスタ」が、3年ぶりに開催されました。当日は、三次青陵高校吹奏楽部によるオープニングセレモニーの後、「コミュニティ・スクールの実践について」と題し、三次中学校区(三次中、河内小、三次小)が共に行ってきたこれまでの取組について発表しました。今回は、三次ケーブルビジョン様の全面的なご協力を受け、これまで三次中学校区で行ってきた様々な地域との協働活動を、動画により、子どもたちの実際の姿を通して見ていただきました。コロナ禍ということで、会場は参加者を限った形となりましたが、三次市教育委員会のご支援により、

「YouTube チャンネル」での生配信もあり、多くの方に「みよし学園コミュニティ・スクール」の実践を紹介することができました。

講演会では、国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官であり、広島県教育委員でもある志々田まなみさんによる「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」と題して、「コミュニティ・スクールと地域協働活動が、今なぜ求められているか」等についてのお話がありました。



○コミュニティ・スクールと地域協働活動が今なぜ求められているか。

- ・少子化による子どもの減少、それにとまなう親同士のコミュニティの弱体化、教員数の減少(学校マンパワーの弱体化)により、地域の中で子どもを支えていく仕組みが不可欠となっているため。
- ・子どもたちの不登校、暴力行為等が増加している中、それらの課題に対して、地域の大人同士のネットワークにより、変化の激しい社会に順応できる子どもたちを、学校とともに育てていくことが、これからの学校づくりの要件になっていくため。

○コミュニティ・スクール導入のねらいは、学校、地域がともに当事者意識をもちながら、同じ課題を解決すること、多様な他者と関わっていける意欲・資質を大人にも子どもにも育むことです。

○コミュニティ・スクールで大切にしたいのは、学校、地域が自分ごととして、子どもたちの課題に対し、親身になって取り組む大人の姿を見せることです。それが、社会の中で貢献できる(課題を解決していく)意欲をもった子どもを育てることにつながり、ひいては、これからの社会的課題を解決していくことにつながっていきます。

○地域学校協働活動のメインは、あらゆる世代、教員を含む様々な立場の人々が、「斜めの関係」で子どもの成長についてともに学び、考え、必要な活動をつくるために協働できるつながりづくり(地域づくり)です。これを「学校を核とした地域づくり」と呼んでいます。

上記は、講演内容の一部ですが、「子どもたちに愛情と関心をもって、その成長に関わりたいと思ってくれる人同士をちょっとずつつなぎ、その方々とのネットワーク・信頼関係を『地域』と呼んで、広げていくことが大切です」と締めくくられました。

三次市内小中学校では、令和4年度から7年度にかけ、すべての中学校区でコミュニティ・スクールが導入されます。今回、志々田さんに教えていただいた、子どもの成長に関わる立場にあるすべての大人が、当事者意識をもち、「楽しさ」を共有しながら、変化の激しい社会を乗り越えていける子どもを育てていくことの大切さを学校と地域で共有していければと思います。

梵大英 先生に講話していただきました

三次中

～自分の未来を切り開くために、今しておくべきこと～

2月6日(月)、1年生を対象に、三次地区自治会連合会会長 梵大英先生をお迎えして「将来自分が進みたい路に進むために、中学生が今しておくべきこと」について次のこととお話していただきました。

今、勉強できる環境を与えてもらっている！ もし、それがかなわなかったなら

- ・生活に必要な知識を得られない。
- ・仕事を選んで就くことが出来ない。
- ・社会から取り残される。

⇒自分で自分の身を守れない。

大切にしてほしい3つ

学び
考える

将来に向け
我慢

互いに
協調



「Why?(なぜ)」を大事にしながら、目的、目標を問い直し、立ち止まり、仕事⇔自己の役割を追求していく。今、学びを通していろいろなことを体験し、将来に備える。今、おろそかにしていると将来もおろそかになる。今、一生懸命していると将来も一生懸命になる。

そして、「三方よし」の理念、自分と他者(相手)だけでなく社会全体がよくなる方向で考えていく必要がある。常に「お互い様の規範」と人とのめぐりあわせを大切に感謝の気持ちを忘れないでほしい。たどりつけそうにない夢が本気の夢となり現実になるには、覚悟と人の何倍もの努力によって成し得る。

【生徒感想より】

勉強できないとどうなる?というお話を聞いて最近勉強をほったらかしにしているところがあるし、分からないから書かないこともあるので、分からないなら調べる等色々な方法があるので、きちんと最後まで頑張ろうと思いました。

ともえ教室(コミュニティルーム)を素敵な空間に！

三次小

今年度開設したともえ教室(みよし学園コミュニティルーム)を、みよし学園の児童・生徒と地域の皆様との交流の場として、素敵な空間になるよう計画しています。

これまで、家庭教育支援チームきりこちゃんの皆様や市立図書館の皆様の協力を得て、三次小学校図書委員会の児童で話し合いをして、児童・生徒や地域の皆様、保護者の皆様がリラックスして、本を選んだり、読書できたりするようにしようと取り組んでいます。

2月17日(金)に家庭教育支援チームきりこちゃんの皆様と、三次小学校図書委員会の児童で活動しました。全校児童が、それぞれ「おすすめの本」を1冊選び、ともえ教室に運び入れていました。ともえ教室の棚に市立図書館の皆様にアドバイスしていただいたことを生かして置きました。きりこちゃんチームに協力してもらい、本が見えやすいように、棚の奥のスペースに物を詰めたり、本の表紙が見えるようにブックスタンドに立てかけたりしました。各学年で人気のある本を調べ運んだり、本を紹介するポップを書いたりしました。

本を思わず手に取って、読んでみようかなという感じの本棚になりました。今回の活動を通して読書のきっかけにもなればと考えます。家庭教育支援チームきりこちゃんの皆様と図書委員会の児童がふれあい、一緒に活動できたのも良かったです。「子供達とふれあえて、楽しかったです。」とってくださいました。



「ともえ 2040」へのご意見やご感想、子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。

【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校 TEL 0824-62-2896 FAX 0824-62-2899

E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp